

平成15年度 オホーツクライフ委員会 事業報告書

15年度事業報告

景観整備事業(花の植樹)

前々年度から継続の遠軽町での花の植樹を行った。
プランター・ポット苗の寄贈も合わせて行った



「まちなみ診断」事業への参加・協力

オホーツク委員会と共同事業として展開した今年度は「湧別川流域フォーラム」と銘打ち、湧別川流域の6市町村を中心に開催
今回のフォーラムについても、当委員会は事業計画の段階から積極的に参加し、当日の3日間についても、常時3名以上がワークショップに参加した。



今回事業に関して、参加者が中心になり報告書を作成している
作成に際しては、当委員会も参加し製本化するよう進めている
(16年1月に製本化 繰越金で消化)

「ブルームボール」への支援・協力

管内特異スポーツである、「ブルームボール」を普及・振興を寄与する活動を展開
当委員会・オホーツク二建会が中心となり、チーム設立し、網走開催のジャパンカップにも参加
また、ジャパンカップ公式パンフレットに、「21世紀を考える会」のロゴマークを印刷し、内外に会の活動をPRした。



「イベントカレンダー」の調査・作成

管内26市町村の行事を表記した「イベントカレンダー」のイベント調査を26市町村対象に行った。

各市町村のイベント対応部署を整理し、直接調査依頼を行うようにした。

作成については、昨年同様に印刷業者に依頼し年内に配布する

「森林浴歩くスキーと語る夕べ」

3月22日に開催された上記シンポジウム開催の協力を行った

講師には、東大の月尾先生と残間里江子さん
を招いて開催した。

翌日のスキーは始発点を変更したものの、晴天に恵まれ、参加者は気持ちの良い汗をかいていた。



女満別・紋別空港関連事業への参加

女満別空港関連では、「氷上絵文字」への支援を今年度より行わない事とした。

紋別空港関連では、「紋別空港空の日実行委員会」に今年度も参加し、イベント実行に向けて協力を行った。

紋別空港のイベントに関しては、来年の「DOいなか博」との関連もあるので、事業協力・支援については、16年まで継続する事とした。

DOいなか博推進委員会への参加

16年開催(今年度プレ博)のDOいなか博の推進委員会に参加し、考える会との連絡的活動を実施した。

シーニック的マップ作成(仮称 クリスタルロードマップ) 4委員会合同事業

シーニックバイウェイの発想・手法を用いて、考える会所有の観光データを使用しマップ作成を行う。

ワークショップ形式とし、基本ベースを会員の手により作成し、その後他団体との共同ワークショップを開催する。(実施は1月中を計画する)

コーディネーターには、シーニックバイウェイの導入モデル検討委員会の東村氏を招聘計画する

